

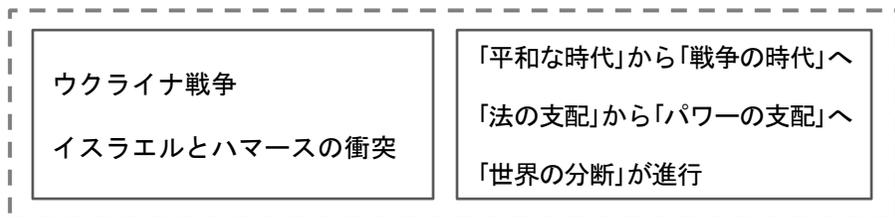
# 混迷する国際秩序を立て直すための日本の戦略

ポスト・ウクライナにおける新しい国際秩序を考える研究会 政策提言

2024年7月30日  
一般財団法人 国際経済交流財団

## I. 混迷状態とその背景

### ◎カオス（多極化の世界）



### ◎背景

- ・先進諸国、G7の後退 ➡ G7の世界経済に占める割合が5割以下に
- ・米国の内向き化 ➡ 世界のリーダーとしての米国の影響力低下  
対外政策が一国主義的に
- ・中国の脅威 ➡ 世界第2の経済大国に
- ・グローバルサウスの台頭 ➡ インドを先頭に、グローバルガバナンスの  
キャスト・キャスト・キャストを握る！
- ・米中対立の深刻化、中国の威圧的貿易政策を背景に経済安全保障が  
各国の重要課題に！
- ・ルールの支配の形骸化（国連もWTOも無力化）

## II. 対応策

### ◎世界が取り組むべきこと

（平和と繁栄の回復）

- (1) 法の支配の再構築  
①国連改革 ②WTO改革
- (2) 自由貿易の推進と経済安全保障の確立
- (3) 台湾有事の回避
- (4) 中国との対話の継続
- (5) グローバルサウスへの経済支援

### ◎日本の創造的貢献

（戦後80年の世界の平和と繁栄のシステムの最大の享受国）

- (1) 法の支配の再構築への貢献
  - a) 国連改革  
準常任理事国あるいは長期理事国になって、安保理改革実現、拒否権乱用防止へ
  - b) WTO改革  
上級委員会の復活等、紛争処理機能回復と安全保障案件についての取扱いの工夫
  - c) 国際機関で活躍する日本人材の育成
- (2) 自由貿易の旗手としての貢献と経済安全保障の確保
  - a) CPTPPの加盟国拡大
  - b) 進化型産業政策により経済安全保障強化（IPEF、QUAD等の活用）
  - c) 輸出管理の強化
- (3) 台湾有事回避のための抑止力強化
  - a) 防衛力の強化と米・EUとの密接な関係維持
  - b) サイバーセキュリティ能力強化
  - c) 少子高齢化対策・外国人労働者の受け入れによる人口減少の食い止めと日本の国際的プレゼンスを維持
- (4) 中国との対話強化
  - a) 地球環境問題などのグローバルコモンイシューについての対話促進
  - b) 両首脳は代理人機能を持つ対話チャンネルの維持と各界の交流活性化
- (5) グローバルミドルパワーの代表格としてグローバルサウスと連携
  - a) 自由、民主主義、「法の支配」の概念がグローバルサウスにとっても重要であることを説得できるのは日本（日本の経験を活用）
  - b) 開発協力等経済支援にも「日本の智慧」を活用
- (6) 仲間づくりへの努力
  - a) 東南アジア諸国との一体化（日本のASEANへの加入、ERIA (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia) の役割充実）
  - b) 「西太平洋連合」のすすめ
  - c) 国立国際協力大学院大学の創設
  - d) TICADの活用

官民一体となって、危機意識を共有し、

「毅然として頼りになる」日本を早急に目指す